

ハイヅカ湖地域ビジョン

これまでに実施したリーディングプロジェクトの取り組み状況

【 第1・4分科会 】

手前味噌づくり

開催日時：平成20年2月17日（日） 11:00～14:00

開催場所：灰塚コミュニティセンター

主 催：のぞみが丘楽農仙人塾

後 援：社団法人 中国建設弘済会

概 要：のぞみが丘楽農仙人塾の伊藤さんを講師に向かえ、笑い声が飛び交い、終始和やかな温かい雰囲気にながら味噌作りを体験しました。麹と塩を大豆に混ぜ込むところから始まり、出来たばかりの味噌をすべて容器に詰めて封をした後、参加者全員で昼食をいただきました。呉汁、おむすび、お漬物、おからドーナツ、くみ豆腐など、地元産の食材を心ゆくまで味わいながら交流しました。（参加者数：20名）



自然観察ガイド養成講座

開催日時：第1回：2008年3月11日（火）19:00～20:15

第2回：2008年4月9日（水）19:00～20:15

第3回：2008年5月21日（水）19:30～21:00

開催場所：灰塚コミュニティセンター

主催：ハイツカ湖地域ビジョン 第1・4分科会

共催：のぞみが丘運営協議会 文教体育部

概要：2008年の3月11日に第1回（参加者数：約25名）が、4月9日に第2回（参加者数：約15名）が開かれた自然観察ガイド養成講座は、毎回テーマを変えながら開催されており、第1回はカタクリ、第2回は春植物、第3回はホタルとブッポウソウをテーマに開催されました。地元ハイツカ湖の魅力的な資源を学び活かすため、今後も継続して開かれる予定です。（参加者数：約25名）

〔第1回の様子〕



〔第2回の様子〕



「大谷地区ガードレールペイント企画」企画会議

開催日時： 2008年10月1日(水) 19:00~21:00

開催場所：灰塚コミュニティセンター

主催：ハイヅカ湖地域ビジョン事務局

概要：第3回合同分科会で提案された「大谷地区ガードレールペイント企画」の実施計画について企画会議を開催し協議を行った結果、塗装を実施する範囲を大谷川沿いの約200mのうち可能な範囲を優先的に塗装することや、美術部に所属する地域の高校生、地域の美術・デザインを専攻する大学・専門学校生に呼びかけ、11月29日(土)にデザインワークショップ(実行計画会議)を開催することなどが決定しました。(参加者数：7名)



風景をデザイン してみませんか？

～あなたの作品が町に残ります！～



三良坂町灰塚 大谷植物園

ハイツカ湖のすぐそば、三良坂町灰塚にある大谷植物園周辺の白色ガードレールを、みなさんのキャンパスとしてデザインしてみませんか？ 実際にデザインを施すステップに進む前に、地元の人たちと一緒にワークショップを開催します！ 周囲の自然環境に溶け込むものにするために、あなたならどんなデザインにしますか？ 長さはどのくらい使う？ 四季により常に移ろうこの景色に合う色ってどんな色？

コンセプトやデザインを練る段階から全員でたくさんのアイデアや意見を交換し合い、素晴らしい完成プランを作り上げましょう！ みなさんが持つデザインの力と好奇心で、ぜひハイツカ湖地域を盛り上げてください！

大谷地区ガードレールペイント企画 デザインワークショップ 開催概要

2008.11月29日(土) 13:00 16:00
(現地視察:13:00～14:00)

開催場所:灰塚コミュニティセンター (三良坂町灰塚 37-9)

TEL:0824-44-2237

募集要綱

参加対象者:美術部に所属する高校生、および美術・デザインを専攻している大学、短大、専門学校生であること。

デザインのグラドルール:・大谷地区周辺の景観に配慮したデザインであること。

・最小の塗装範囲は1ユニット(約4m)とし、長さは参加校で協議。

会場までのアクセス:公共の交通機関でのご来場は不便なため、送迎マイクロバスを臨時運行致します。集合場所をご参加校に追ってご連絡致しますが、JR三次駅もしくはJR広島駅を想定しています。

- ・塗料は提供いたします(特殊塗料であるため色はある程度限定されます)。持ち込みも可。
- ・その他、今後の進め方の詳細などについてはワークショップで協議し、決定することとします。

応募方法

応募方法:裏面に記載の事務局まで、お電話、E-MAIL、又は別紙のFAX用紙にてご応募ください。

募集〆切:2008.11月21日(金)

灰塚ダムのこと

灰塚ダムは、三次市三良坂町、三次市吉舎町、庄原市総領町の三町にまたがる広大な貯水池をもつダムです。美術やデザインが大好きな皆さんの中には、『灰塚アースワークプロジェクト』が展開された場所として記憶している人もいらっしゃるかもしれませんね。

ハイツカ湖地域ビジョンのこと

ハイツカ湖地域ビジョンは、地域の重要資源の一つである灰塚ダム・ハイツカ湖を中心に、私たちの暮らしや将来を考え、自分たちの力でコトをおこす「灰塚ダムによって生まれた資源を活かした「いきいき」のわ(和・輪・環)づくり」を目指しています。地域住民のみなさん、広域的な有志の方、行政など、多様な方々の参画を促進しながら、各自の主体的・自発的な取り組みで進めているプロジェクトです。

この企画会議は、ハイツカ湖地域ビジョン 第1・4分科会(テーマ：豊かな暮らしと文化・芸術)に参加する地域の皆さんが話し合って提案されたものです。この企画会議を通じ、新しいつながりの輪ができればいいですね。若い皆さんのフレッシュなアイデアをお待ちしています。ぜひご参加ください！

【 開催地の広域図 】



【 開催地の周辺図 】




【 開催地までのアクセス 】

- ・お車でお越しいただくのが一番便利です。
- ・送迎マイクロバスについてなど、質問がございましたら下記事務局までお気軽にお問合せください。

お問い合わせ
申し込み先

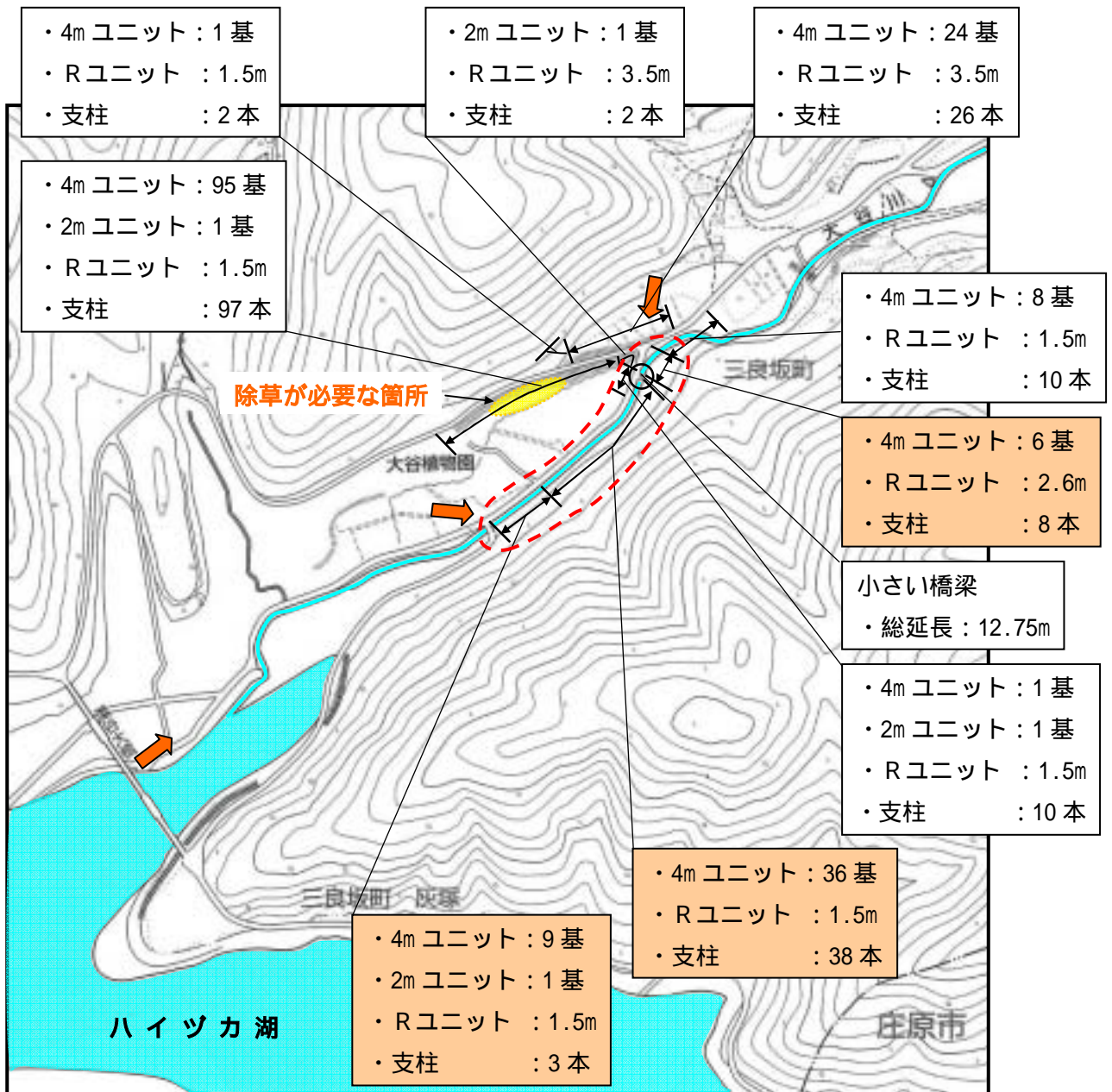
ハイツカ湖地域ビジョン事務局

(三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所内) 担当：今岡、水谷
〒729-4302 三次市三良坂町仁賀 1575
TEL：0824-44-4360 FAX：0824-44-3544
e-mail：mizutani-k87ga@cgr.mlit.go.jp

ハイツカ湖地域ビジョン WEB にも情報を掲載中です！  <http://www.haizuka.net/>

《 大谷植物園 白色ガードレールの概要 》

直線ユニット		Rユニット	
・4m ユニット総数	: 180 基	・0.75m Rユニット	: 15 基
・2m " "	: 3 基	・1.75m " "	: 1 基
・総延長	: 726m	・1.85m " "	: 1 基
橋梁用ガードパイプ(細)		・2.75m " "	: 1 基
・右	: 6.75m	・総延長	: 17.6m
・左	: 6m	延長総合計 : <u>756.35m</u> 支柱総数 : <u>197 本</u>	
・総延長	: 12.75m		



--- : 塗装範囲 □ : 塗装箇所の詳細 → : 写真撮影の方向



写真 塗装開始地点



写真 塗装終了地点



写真 塗装箇所の遠景

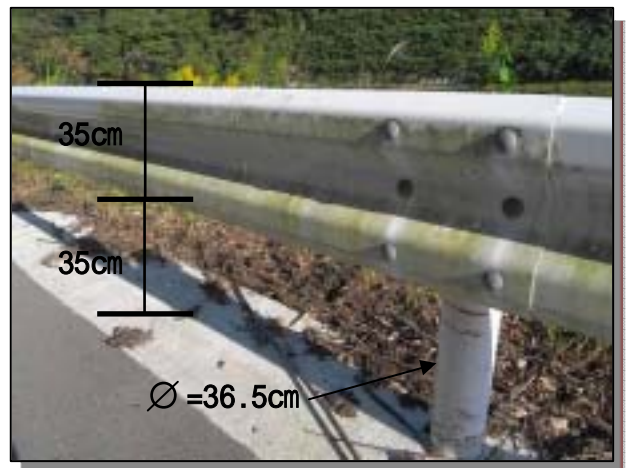


写真 基本ユニットの構造
ケレン前のものです

【 参考写真 】



写真 小さな橋梁



写真 雑草に覆われたガードレール

【 第 2 分科会 】

「ハイツカ探湖会」企画

開催日時：平成 20 年 8 月 27 日(水) 10:30～12:00

集合場所：灰塚ダム管理支所

主 催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局

概 要：7 月 8 日に開催された第 3 回合同分科会において提案された「ハイツカ探湖会」の開催をこの日に予定しておりましたが、ダム湖の貯水位が低下していたため、中止となりました。

「ハイツカええと湖探し」

開催日時：平成 20 年 10 月 16 日(木) 19:00～21:00

集合場所：灰塚ダム管理支所

主 催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局

概 要：水面からの“ええと湖探し”である「ハイツカ探湖会」はあいにく中止となりましたが、続いて夜のハイツカの“ええと湖探し”である「秋のお月見会」を開催しました。5つの月見ポイントを見て周った後、田戸岬にてささやかなお茶会を開き、十六夜の月を愛でました。この企画で見て周った5地点は、第2分科会のマップに記載される予定です。

(参加者数：11名)



秋のお月見マップ



10月16日(木)19:00~21:00に開催された「秋のお月見会」のとりまとめをお送りします。夜は少し冷えましたが、ささやかなお茶会を開いた田戸岬を含む5地点は、地域のお月見ポイントとして「ハイヅカ湖おでかけマップ」に記載される予定です。

なお、ここに記載した5地点は、好天の十六夜の日に実施した際のものであり、天候や季節によって月が見えなくなる場合もあることをご了承ください。



・なかつくに公園の緑がぼんやりと妖しく浮かび上がる姿が幻想的で良い。
・月の高度はかなり上がったが、川面が細いため月明かりはほとんど映らない。



・水面に月明かりはそれほど映り込んでいない。
・欄干のホタルを模した照明との組み合わせが魅力的。
・欄干の照明が点灯しているところを初めて見た。



・お茶会を開いたポイント。
・月が高く懸かり、雲との組み合わせも美しい。
・先端部の広場で布などを敷いて、ゆっくりと寛いで月を眺めることができる。
・上空の視界を遮るものが少なく、夜空を存分に楽しめる。

・月が昇り始めたばかりだったため、水面に映る月明かりの光線は細かった。
・月が明るく、人の影が長く伸びている感じが幻想的。



・月の高度も充分で、良く見渡せる大きな湖面に呼応するように、月明かりも長く大きく映り込み、雄大かつ幻想的。
・参加者の歓声が最も上がったポイント。
・橋ではなく谷沿いの国道であるため、落ち着いて見られないのが難点。

【 第3分科会 】

「抱きしめてハイヅカ湖 夢実現コンサート」

開催日時：2008年5月4日（日）13:00～15:00

開催場所：灰塚ダム記念公園

主 催：「抱きしめてハイヅカ湖」実行委員会

後 援：仁賀振興会、ハイヅカ湖歓交協会、カフェレストラン湖畔の森、(福)総領
福祉会、障害者支援施設ともいきの里、ザ.学校（適疎塾）、県北レクリエ
ーション協会、ええ農（風和土）、逆手塾、灰塚ダム管理支所

概 要：2010年5月4日のみどりの日に実現を目指している「抱きしめてハイヅカ
湖」のプレイベントの一環として開かれたこのコンサートでは、ジャズラ
イブ、トークショー、草笛の演奏などのプログラムがあり、最後に集まっ
た参加者で手をつなぎ、今後、より盛り上げていくイメージを共有しまし
た。（参加者数：約50名）



空心菜試食会

開催日時：2008年6月17日（火）18:00～20:30

開催場所：木屋自治振興会館

主催：ハイヅカ湖地域ビジョン事務局及び第3分科会

後援：灰塚ダム管理支所

概要：木屋自治振興区の方々のご協力のもと、調理の段階から参加者全員で空心菜を考察していきました。様々な調理法を試しながら、味や食感、見た目等を評価しました。最も好評だった調理法は空心菜特有のぬめりが活きた酢の物でした。また、この試食会に合わせて取り寄せた空心菜の栽培キットを参加者が持ち帰り、各自で育ててみる試みがこの日から始まりました。会の終了後は、木屋癒香の杜に移動し、コーヒーやケーキで一息入れながら、参加者たちは木屋自慢のホタルを楽しみました。（参加者数：15名）



「抱きしめてハイツカ湖(仮称)」企画会議

開催日時：2008年10月30日(火) 19:00～20:30

開催場所：ハイツカ湖畔の森カフェレストラン

主催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局

概要：はじめに、これまでの協議の経緯と現状を事務局より説明し、改めて振り返りを行い、協議をしました。このままでは企画が具体化していかないこと、分らない部分や不安を払拭することが難しいことなどを鑑み、まずやりたい方が集まって実行組織を立ち上げ、委員会形式で進めていくことが決定しました。(参加者数：7名)



「空心菜を用いた笑湖(エコ)プラント実験」企画会議

開催日時：2008年11月13日(木) 19:00～21:00

開催場所：木屋自治振興会館

主催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局及び第3分科会

概要：はじめに、今年度から市販の栽培キットやダム記念公園などでの試験栽培を始めた空心菜についてこれまでの振り返りを行い、生育状況や結果などについて意見交換を行いました。続いて、今後の本格的な特産品化に向けた行動計画について協議しました。その結果、実行委員を広く募り、「抱きしめてハイツカ湖(仮称)」と同じように実行委員会形式で進めていくことが決定しました。また、当日はケアハウス吉舎の奥田氏もご参加され、空心菜を中華料理で調理していただき、味や見た目などについて意見交換を行いました。(参加者数：7名)



【 第 5 分科会 】

草レチック大会

開催日時：2008 年 4 月 29 日（祝）10:00～15:00

開催場所：なかつくに公園（庄原市総領町田総の里西）

主 催：ハイツカ湖歓交協会

後 援：ハイツカ湖周辺地域連絡協議会、(株)里山総領、稲草西自治振興区、(財)中国建設弘済会、灰塚ダム管理支所

協 力：県北レクリエーション協会、逆手塾、(福)総領福祉会、ザ・学校(適疎塾)

協 賛：空の工房太陽風、ガラス工房ポレポレ、手づくり集団：木族、MGYH、燻煙工房香豚、あまご生産組合、和笑会、ハナビラタケ広島、備後矢野駅

概 要：「草で遊ぼう！ 草を食べよう！ 草を歌おう」をテーマに、「草」を楽しむプログラム満載のイベントでした。プログラムの中で、電動カートの体験コーナーがあり、警察職員の方を呼んでの指導・実講習が行われ、多くの高齢者やご家族が体験されました。（参加者数：約 75 名）



「ハイツカ湖おでかけマップづくり」企画会議

開催日時：第1回：2008年9月8日(月)

第2回：2008年10月16日(木)

開催場所：灰塚ダム管理支所(第1回)、木屋癒香の杜(第2回)

主催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局及び第5分科会

概要：第3回合同分科会で提案されたガイドマップづくりについて、2回に渡って企画会議が行われました。マップの形に始まり、マップの構成、マップに載せる情報量や内容など、多くの項目について意見交換をしながら、タタキ台を作っていました。また、マップづくりを取り組みたいことのひとつとして挙げている第2、第3分科会とも協働して、テーマに沿った3種のマップを作ることとし、第5分科会は健康・福祉に関する情報を載せたマップにしていける予定です。(参加者数：各3名)



【 第 6 分科会 】

笑湖楽校 第 1 回 ~ 冬鳥観察会 ~

開催日時：平成 20 年 2 月 17 日（日） 9:00 ~ 11:00

開催場所：知和ウェットランド及び知和管理棟

主 催：ウェットランド自然観察会実行委員会

後 援：社団法人 中国建設弘済会

概 要：第 1・4 分科会の手前味噌づくりと合同で開催した冬鳥観察会は、アイスブレイク、オリエンテーションの後、知和管理棟内、観察小屋、観察小屋付近の橋の上などから野鳥観察を楽しみました。時折雪の舞う中でしたが、途中には晴れ間ものぞき、ミサゴやカワウ、カイツブリ、ダイサギ、カモ類などを観察し、姿こそ見えませんが、コゲラやセグロセキレイ、ミヤマホウジロ等も可愛い声を聞かせてくれました。（参加者数：23 名）



プロジェクトW E Tエドゥケーター講習会 in ハイヅカ湖

開催日時：平成 20 年 7 月 12(土)、13 日(日) 9:00～17:00

開催場所：知和ウェットランド 知和管理棟

主催：ハイヅカ湖地域ビジョン事務局

後援：江の川文化圏会議「環境・教育」分科会、灰塚ダム管理支所

概要：2種のアイスブレイク、4種のアクティビティ、各班によるピアティーチング(ピア=同等・対等の人。同じ立場のもの同士で講師に代わり互いに実践指導する)など、昼食を挟み一両日を要す企画でしたが、7月12日は11名、13日は7名の方々に集まっていたいただき、活発な雰囲気の中、知的な遊びや体験的な要素が組み込まれた水や自然環境についての様々なアクティビティとその指導法などを学び、参加者は全員、最後にプロジェクトW E Tエドゥケーター講習会の修了証とエドゥケーター資格の認定を得ました。

〔7月12日(土)の開催の様子〕



〔7月13日(日)の開催の様子〕



笑湖楽校 第2回 ~夏休み企画~

開催日時：平成20年7月26日(土) 9:00~12:00

開催場所：知和ウェットランド及び知和管理棟

主催：ウェットランド自然観察会実行委員会

後援：社団法人 中国建設弘済会

概要：炎天下ではありましたが、子供たちは喜んで沼沢地に入り、第6分科会のメンバーに昆虫や魚の採り方などを教わりながら、大人も一緒になって生き物捕りや観察を楽しみました。知和管理棟に戻った後は参加者自らが捕まえた生き物を集め、岩水館長からご説明いただきました。封入標本作成に挑戦したり、家庭で育てるために捕まえた生き物を持ち帰った子供たちもいました。(参加者数：20名(うち子供8名))



笑湖楽校 第3回 ~ウェットランドを学ぼう~

開催日時：平成20年11月13日(木) 13:00~16:00

開催場所：知和ウェットランド及び知和管理棟

主催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局

概要：はじめにウェットランドができた背景や主な施設、果たしている役割、生物の生息・生育状況、将来イメージなどについて、知和管理棟の岩水先生に詳しくお話いただきました。その後は立ち入り禁止区域を中心に現地視察を行い、ウェットランドの現状などを見て回りました。知和管理棟に戻った後は、ウェットランドの利活用について意見交換を行いました。

(参加者数：7名)



以上